埼玉の住協、100年人生対応モデル住宅建設 東大と研究

#関東 #埼玉 #東京

2023/1/4 18:39

住協が建設する100年人生対応型モデル住宅の模型

不動産開発の住協（埼玉県所沢市）は6月をめどに「100年人生」に対応したモデル住宅を東京都練馬区に建設する。2022年から東京大学と始めた共同研究の成果を生かし、100年の人生で家族構成や年齢などが変化しても暮らしやすくする工夫をこらす。購入検討者に公開した後、実際に分譲する。今後も東大との共同研究を進め、住宅商品の新たな柱の一つに育てる。

同社の分譲地に4棟を建設する。いずれも木造2階建てで、建物面積は90平方メートル前後の予定。2階にアクセスできる外部階段を設置。例えば1階でカフェを経営したり、子どもが成長して家を離れたら2階を賃貸したりと生活スタイルの変化に対応しやすいという。

2階には専用の洗面化粧台やシャワー室を備えるほか、高齢になったときでも暮らしやすいようホームエレベーター設置棟も一部に用意する。

住協グループは22年1月から東大の高齢社会総合研究機構副機構長を務める大月敏雄教授を中心とする研究者と「次世代住宅・住宅地開発研究」をテーマに共同研究をスタートした。人生100年社会、災害多発社会などに対応するモデル住宅・住宅地の開発が研究目的で、その成果の一つとして今回のモデル住宅を建設することにした。分譲価格は今後、詰める。